

報道機関に依頼する事項に○をつけてください

①実施する事業の紹介

②催事等の参加者募集

③催事等の当日取材

報道取材情報（沼津市）

令和元年 10 月 1 日（火）発表

名称等	北条早雲公顕彰 500 年記念イベント (A) 講演会「興国寺城と続日本 100 名城」の開催 (B) ガイドブックのWEB公開について
実施日時	(A) <u>令和元年 10 月 5 日（土）13 時～16 時半</u>
場所	(A) プラサヴェルデ 301・302 会議室
担当	教育委員会事務局 文化振興課 直通 055-935-5010 (※ (A) については、7 月の定例記者会見で報告しています。)

1 内容

(A) 令和元年は北条早雲公没後 500 年になります。この節目の年に教育委員会では北条早雲公顕彰五百年記念イベントを実施しておりますが、10 月 5 日に 2 回目の講演会を実施します。また同日午前中にはすでに申し込みを終了しておりますが、「専門家とめぐる興国寺城跡バスツアー」を実施します。

(B) 9 月 11 日から 18 日に沼津市立図書館で開催した特別展示にて配布した「興国寺城跡ガイドブック」ですが、好評をいただいたことから、講演会で無償配布するほか、沼津市HPでも 10 月 7 日から無償公開します。

2 目的・理由

(A) 国史跡興国寺城跡は、平成 29 年に公益財団法人日本城郭協会から続日本 100 名城に認定されています。講演会では選定に携わった城郭協会理事である加藤理文氏の講演と、興国寺城と同じく県内で続日本 100 名城に認定された諏訪原城（島田市）、浜松城（浜松市）の文化財担当者から、それぞれの城の調査成果や城の魅力を報告してもらいます。これによって、多くの方々に興国寺城跡、さらには地域の歴史への興味や関心を喚起し、知名度の向上を図ります。

(B) ガイドブックは、これまでの調査成果をまとめたものであり、かつ発掘された遺構の写真も豊富に載っているものです。そのため、タブレットやスマートフォンなどにダウンロードすることで、現地で説明や写真を確認しながら史跡散策が可能となります。

3 経緯・経過

興国寺城跡は、平成 7 年に国の史跡として指定を受けて以来、用地取得や発掘調査を実施してまいりました。平成 30 年度末には、これまでの調査研究成果をまとめた「史跡興国寺城跡 調査報告書」を刊行いたしました。

本年度は早雲公顕彰五百年記念イベントとして、9 月 16 日には沼津市立図書館において「文献史学から見た興国寺城の歴史的意義」をテーマとする講演会を、9 月 11 日から 18 日には「特別展示 興国寺城と激動の東駿河」展を実施しました。

4 影響・効果

(A) 興国寺城跡のみならず、静岡県内は北条氏、今川氏、武田氏、徳川氏、豊臣氏など著名な戦国大名が活躍した地域で、後世に名城と呼ばれる城が数多く存在しています。今回の講演会では、続日本 100 名城に選定された 3 城の選定理由や調査成果の比較検討を行うことで、単独の城の価値だけではなく、県内の城郭全体の価値を多くの方に知ってもらうことができます。

(B) 興国寺城跡はまだ整備計画を進めている段階であることから、現地には復元物や詳細な説明板は設置していません。しかしガイドブックをダウンロードできるようになったことで、多くの方が所有しているスマートフォンでも調査成果を閲覧でき、現地でもより詳しい情報を得ることができるようになります。またガイドブックを時間や場所を選ばずに見られる環境となったことから、これまでに現地に訪れたことのない人の来城を期待できます。

5 特徴

(A) 県内では、続日本 100 名城を取り上げた講演会は行われておらず、今回の講演会が初となります。沼津市（県東部）・島田市（県中部）・浜松市（県西部）の有名な城を一つずつ取り上げますので、県内の城の魅力を手軽につかむことができます。

6 その他

(A) 講演会の駐車場については、限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

令和元年 7 月 24 日 定例記者会見発表 での報告事項（抜粋）

講演会「興国寺城と続日本 100 名城」

- ・日時：令和元年 10 月 5 日（土）13 時 00 分～16 時 30 分
- ・場所：プラサヴェルデ 301・302 会議室
- ・申込受付：申し込み不要
- ・講演者 加藤 理文氏（日本城郭協会理事）
萩原 佳保里氏（島田市教育部博物館課）
鈴木 一有氏（浜松市市民部文化財課）